

【別紙】 令和5年度 学校 自己評価重点目標シート（川口市立幸並中学校）

（A 4 判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	自ら学び正しく行動できる生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康でたくましい生徒
目指す学校像	生徒が楽しく生き生きと活動し、明日の登校が待ち焦がれる学校

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	6名
事務局（教職員）	3名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価（令和6年2月7日 現在）		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	・次年度、複数の主任クラスの人事異動が予想される。また、若手教員が多く、ミドルリーダーの育成が必要である。 ・不登校や配慮の必要な生徒へ一層の支援が必要である。	○主任層、ミドルリーダーのさらなる資質向上 □不登校生徒への支援率100%の達成 ◇いじめ事案未解決0%の達成	○適材適所の分掌に配置し、OJTを行う。 □支援員常駐によりSR経営を安定させ、外部機関とも積極的に連携する。 ◇良さを伸ばす積極的生徒指導、組織的ないじめ対策に取り組む。	○各主任を中心に各学年、分掌が適切に機能し、OJTを進めた。 □SR経営は安定し、外部機関とも連携できたが、不登校生徒支援率100%は達成できなかった。 ◇各学年、生徒指導委員会等が連携し、いじめ事案解決の見届けは順調である。積極的指導の特別な取組はできなかった。	B C A	①教育課程の変更や人事異動等による大きな変化が予想されるが、引き続きOJTを通して一人ひとりが力量を上げそれぞれの強みを活かした教育集団をつくる。 ②家庭・学校・専門機関と連携し不登校生徒の支援を進める。 ③積極的生徒指導に取り組む。
教育課程	・外国籍生徒が多く、学力が二極化しているなか、一人一人の学力向上に向けた指導の充実を図る必要がある。	○実践的な校内研修の実施 □質問教室やサマースクールの充実 ◇県学調・全国学調の分析、活用	○指導者を招聘し「主体的・対話的で深い学び」を追求する研修を実施する。 □可能な範囲で、教科を広げて対応する。 ◇各調査を分析し、生徒指導や授業改善に活用する。	○都立高校から現役の先生を招聘し、実践的な授業力向上研修を実施できた。 □質問教室は教科ごとに開催し、サマースクールは個々の指導に活用できた。 ◇学力向上委員会を中心に各調査を分析し、課題を見出し、学力向上プランに反映した。	B B B	①引き続き、授業力向上に関する校内研修を複数回実施する。 ②各部署と丁寧に連携しながら、次年度に大きく変更する教育課程をスムーズに実現させる。
開かれた学校づくり	・学校HP等を活用し、日常的教育活動を広く情報発信する必要がある。 ・地域との連携を強化する必要がある。	○学校HPの積極的活用 □学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりの推進 ◇70周年記念行事の成功	○HPの構成を改編し、教育活動紹介記事100本掲載する（年間） □地域諸団体の活動へ積極的に参加する。 ◇準備委員会と連携し、生徒の姿が見えるよう、充実させる。	○学校行事や日常的教育活動、部活動報告等、100本以上の記事をアップし、HPを活用することができた。1日平均100以上のアクセスがある。 □学校運営協議会と学校課題について共有することができた。 ◇準備委員会や地域の多大なご尽力をいただき、式典、美術展等を通して生徒の歌唱や作品等を見ていただくことができた。	A B A	①教育活動を広く知っていたくため、更にHPの充実を図る。 ②今年度の反省や課題を活かしながら、地域活動との連携を進める。 ③地域小学校と情報を共有し、連携できる教育活動を検討する。
教職員の資質向上	・チーム幸並として、各学年、分掌等、組織的に取り組んでいる。引き続き、率先垂範し、学び続ける集団であることが必要である。	○教職員としての専門性、力量の向上 □授業力のさらなる向上 ◇教職員事故0の達成	○チームとして業務に当たる中で、対話や意見交流等を通して若手教員の実践力を育成する。 □相互授業参観や、校内研修等を通して授業力向上の意識を高める。 ◇服務規律を確立し、危機管理意識を高める。	○各学年、教科、分掌を通して、ベテラン・中堅教員が範を示し、若手の育成に繋げた。 □相互授業参観はできなかったが、指導主事を招聘しての若手教員授業研修は充実した。 ◇全体研修はできなかったが、管理職・事務職等による指導、注意喚起を適宜行なった。	A B B	①力のあるベテランが多い環境を活かし、連携、交流を密にし、OJTを通して教員としての力量を高める。 ②相互授業参観や研修をさらに充実させる。 ③倫理確立委員会を通して、ボトムアップ型の事故防止策を企画する。
施設・設備等の管理	・施設・設備の安全点検の徹底と、適切な予算執行を継続する。	○危機管理意識を高め、学校事故0の達成 □会計に関する複数のチェック機能の徹底 ◇ペーパーレス化の推進	○日常の安全点検と、定期的安全点検を実施し、情報共有を徹底する。 □保護者等外部監査を実施し、会計事故を防止する。 ◇「リーバー」を活用し通信等の配信を行い、印刷費を抑制する。	○施設・設備の安全確保は適宜確認した。無施錠による発報案件1件。施錠について見直した。 □学年会計、部活動会計（吹奏楽部）にて保護者監査を実施予定。 ◇通信等について配信を活用し、十分ではないが印刷費を抑制した。	A A B	①定期的な巡視、点検、監査等を通して職員の意識を高め、次年度も事故0を達成する。 ②引き続き、リーバーを活用し、削減できる印刷費は節約する。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和6年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・目指すべき教師像、リーダー像を明確に先生方に伝えてほしい。不登校については、個別の対応だけでなく、潜在的な原因等の分析をして、傾向を見出し、対処してほしい。 ・管理職の報告や保護者評価から問題発生時の先生たちの対応が良いと感じました。	
・生徒指導にはただただ頭が下がります。専門機関や支援員の協力がもっと必要と思われる。	
・教育課程が変化したら、その結果、教育の質が落ちていないことを検証してほしい。	
・次年度からの改革を先生、生徒、保護者等、皆で乗り越えてほしい。批判ではなく提案で。	
・大切だと思うことは、声の大きさに負けず自信をもってやってほしい。朝読書や清掃は時程に残してほしい。情操教育として大切である。	
・数値での効果測定はわかりやすい。学校教育で使うのは難しいかもしれないけれど是非、数値化して検証してほしい。ホームページのアクセスの数値化はわかりやすい。 ・HPに委員会活動など日々の教育活動の紹介をupできたらいののではと思う。ネットの活用はこれからもっと重要になる。70周年式典も素晴らしいかった。	
・各町会でやっている防災訓練やフェスティバルは中学生の協力がマストなので、これからは是非連携の一つにしていいただけたとありがたい。地域との連携を深めてほしい。	
・先生方の仕事のなかには、職務外のものもあると感じている。教育委員会にも頑張してほしい。グローバル化への対策が激務の一因では？	
・ベテラン教師が多いこの機会を活かして、若手教職員の育成に努めていただきたい。	
・相互授業参観の実現等、充実した研修の継続を望みます。研修は継続しかない。	
・事故0への取り組みをこれからも継続できるようお願いします。	
・潤沢な予算がない中ご苦勞様です。会計事故0もお願いします。	
・災害拠点にもなる施設なので体育館の改修についても取り組んでほしい。	